

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	地理
科目基礎情報					
科目番号	0009		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	国際創造工学科 共通1年		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『地理総合世界に学び地域へつなく』二宮書店 / 『高等地図帳』二宮書店				
担当教員	笹沼 範雄				
到達目標					
現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等の活動の現在の地域的特性について自らの理解を表明できる。	農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等の活動の現在の地域的特性について正しく理解できる。	農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等の活動の現在の地域的特性について正しく理解できない。	
評価項目2		世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、地理的観点から自らの理解を表明できる。	世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、地理的観点から正しく理解できる。	世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、地理的観点から正しく理解できない。	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (B)					
教育方法等					
概要	世界の人々の生活や文化に関する地域的特徴と共通の課題を理解させる。世界各地の特色ある地域の学習を通じ、現代社会に生きる国際人としての教養と自覚を養う。				
授業の進め方・方法	成績の評価は、定期試験の成績80%、授業での取り組み20%で行い、平均の成績が60点以上の者を合格とする。				
注意点	この科目を理解できるか否かは、国際社会に関する理解を大きく左右する。授業終了後にはノート等を見直し、復習しておくこと。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第1章地図とGISの活用	世界からみた日本の位置と領域、国家と領域	
		2週	第1章地図とGISの活用	球面上の世界、世界地図と図法	
		3週	第1章地図とGISの活用	国内や国家間の結びつき (交通と貿易)	
		4週	第1章地図とGISの活用	暮らしのなかの地図とGIS (地形図の読図)	
		5週	第5章 生活圏の諸課題	日本の自然環境と防災	
		6週	第5章 生活圏の諸課題	生活圏の諸課題 (ひたちなか地誌)	
		7週	(前期中間試験)		
		8週	(答案の返却と解説)		
	2ndQ	9週	第2章 地球的環境の特色	地形と生活文化	
		10週	第2章 地球的環境の特色	気候と生活文化	
		11週	第2章 地球的環境の特色	産業と生活文化 (工業と商業)	
		12週	第3章 世界各地の生活文化	東アジア (中国を中心に)	
		13週	第3章世界各地の生活文化	ASEAN諸国と南アジア	
		14週	第3章世界各地の生活文化	イスラーム圏とアフリカ (西アジア~アフリカ)	
		15週	(前期期末試験)		
		16週	(答案の返却と解説)		
後期	3rdQ	1週	第3章世界各地の生活文化	EUと周辺諸国の自然と産業	
		2週	第3章世界各地の生活文化	EUの統合と地域の多様性	
		3週	第3章世界各地の生活文化	ロシアと周辺諸国	
		4週	第3章世界各地の生活文化	アメリカ・カナダ	
		5週	第3章世界各地の生活文化	アメリカ・カナダの産業	
		6週	第3章世界各地の生活文化	ラテンアメリカ	
		7週	(後期中間試験)		
		8週	(答案の返却と解説)		
	4thQ	9週	第3章世界各地の生活文化	オセアニア	
		10週	第3章世界各地の生活文化	世界各地の衣食住	
		11週	第4章地球の課題と国際協力	地球環境問題	
		12週	第4章地球の課題と国際協力	資源・エネルギー問題	
		13週	第4章地球の課題と国際協力	人口・食料問題と移民・難民	
		14週	第4章地球の課題と国際協力	居住・都市問題	
		15週	(後期期末試験)		

	16週	(答案の返却と解説)	
評価割合			
	試験	授業での取り組み	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0